

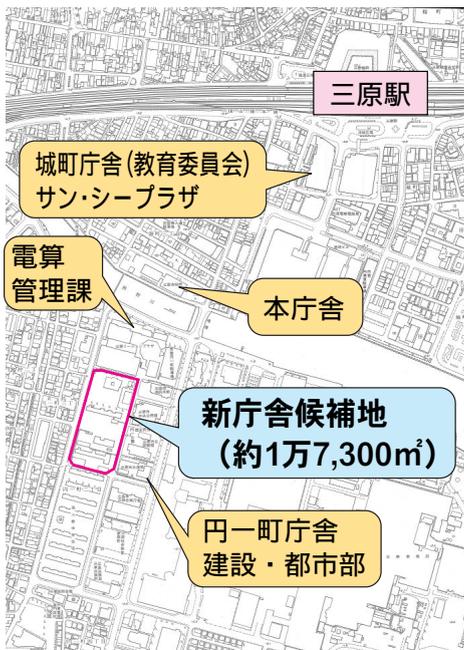
## 市庁舎の現状

- 延床面積：6,696㎡
- 構造：鉄筋コンクリート造5階建
- 竣工年月日：昭和40年4月竣工
- 敷地面積：5,676㎡



(現市庁舎)

## 市庁舎の現状と新庁舎候補地



経過  
現庁舎は築後42年で狭く、耐震性、駐車場の不足、また庁舎の点在による本庁機能の分散など、さまざまな課題を抱え、市民の皆さんには不便をおかけしています。合併協議において、本庁としての機能を十分に果たせないという意見が出されました。

## 新庁舎の候補地

新庁舎は、相当規模の広さの土地が必要になり、リ

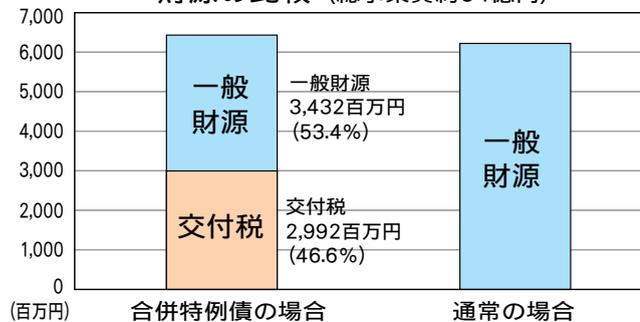
新庁舎は、住民サービスの拠点として、将来にわたって必要な施設です。新庁舎建設は、合併後に優先される重要な事業として、合併特例債を使い実施するものとして位置づけられています。

## 財政見通し

新庁舎建設の総事業費と

ジョンプラザ南側の用地を新庁舎の候補地とし、所有者である帝人株式会社と協議を進めます。今後、新庁舎の規模や機能などについて、市民意向調査を実施します。また、市民参加の建設整備検討会を設置するなど検討を重ね、親しまれる新庁舎を目指します。まちづくりの視点から、新庁舎および周辺施設との一体的利用や併設施設、現庁舎跡地の活用についても検討していきます。

財源の比較 (総事業費約64億円)



して、新市建設計画で約64億円(用地費・建設費・起債利子)を計画しています。

## 市民意向調査の実施

合併後10年、つまり平成26年度までに合併特例債を活用して建設すると、総事業費の約半分は国(地方交付税)から財政支援が受けられます。しかし、合併後10年を経過すると国からの支援はなく、全額市の負担となります。国の財政支援のある期間内に建て替えることが、将来の負担を軽くすることにつながります。

市民の皆さんから市庁舎の機能や役割などについての意見を聞き、市民に親しまれ、多様な行政サービスに対応できるものになるように、11月下旬に市民意向調査を実施する予定です。今後とも、市民の皆さんの理解と協力をいただきながら、新庁舎の建設を推進していきます。

問い合わせ先 企画課 (☎)

0848-676008 (☎)  
0848-671001 (FAX)